



令和7年（2025年）

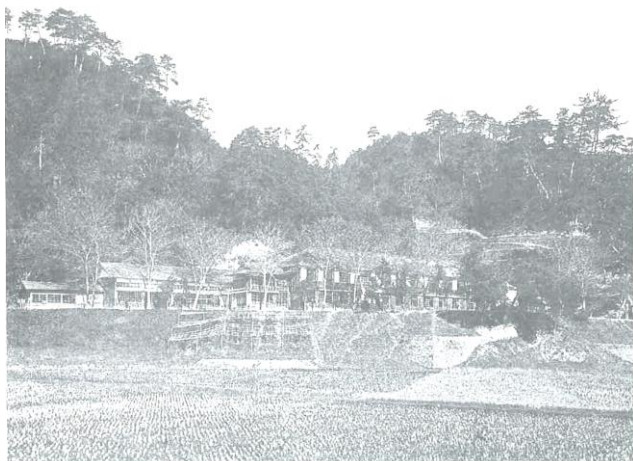
斐伊小学校は開校150周年を迎えます

斐伊小学校は、明治8年（1875年）に開校しました、学校だより「ひいの子」では、開校150周年にちなんだ記事を紹介していきます。

思い出のギャラリー

「現在地」における斐伊小学校の校舎の変遷を紹介したいと思います。今回は、平成12年10月発行の、『斐伊小学校新築記念誌 城名樋』からの抜粋です。

“斐伊小学校の移り変わり”



〔明治20年代から大正8年まで〕
斐伊村外五ヶ町村組合立高等小学校
現在地での前身



〔昭和19年〕
城名樋塾を学校へ移転

＜「城名樋塾」とは＞

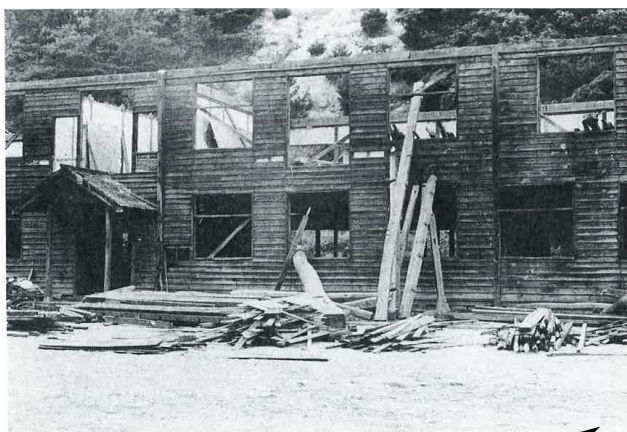
昭和7年、当時の村長山根寿三郎氏が購入して学校に寄付され、児童の生活指導の場として使用された。

塾は先生と児童が寝食を共にし協力して炊事や家事を営んでいく生活訓練をねらいとし、その内容は時代によって多少の相違はあったが、先生と高学年男女児童がこれに当たった。先生と児童二名宛の当番制で児童は放課後直ちに塾に入り日課を進めていった。掃除・夕食と風呂の準備、畜舎の牛飼いを終えて先生を待つ。先生入塾後入浴、夕食、食後の話合い、そして就寝前の校舎夜警を終えて床に就く。翌早朝に起き朝食の準備、ラジオ体操、掃除、牛飼、朝食、片付けを終わって登校するというのが大体の日課であった。

（「斐伊小学校百年の歩み」より抜粋）



〔昭和22年〕
校舎修繕終わる（各教室にスジカイが見える）

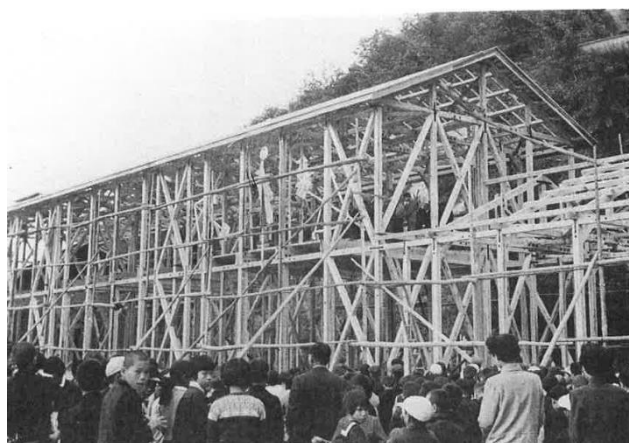


〔昭和34年〕校舎解体

校舎が建築後60余年経て全く老朽化したので危険校舎として改築の議が起こり、この際斐伊小学校を廃止して木次小学校と合併した方がよいとの声が起こり、昭和33年に地元として斐伊小学校改築促進協議会が結成された。困難な町情勢の中で改築が決定し、昭和34年8月に解体。

（「斐伊小学校新築記念誌 城名樋」から抜粋）

校舎竣工の際は、2日間に亘って祝賀行事が行われたそうです。地域の皆さんの小学校への思いが伝わってくる記事でした。



〔昭和34年〕
校舎改築、上等式典



〔昭和35年〕
斐伊小学校全景、校庭拡張



先月紹介した昭和39年の土砂災害の場所がここです。

〔昭和37年〕
学校裏山より撮影した学校の全景と城名樋塾と作業場のあったところ（向側）

